

## 卒業式校長式辞(3月6日)

校長 鈴木 健史

現代は先を見通すことが難しい時代です。戦後、人類が築いてきた国際秩序は揺らぎ、生成AIが社会の隅々に浸透し、良くも悪くも、これまでの「常識」や「当たり前」が通用しなくなりつつあります。

このような時代を生きる私たちは、生成AIを適切に使いこなし、人類の英知の恩恵を受けながら、多様な視点で物事を捉え、何が真実で何が虚偽かを見極め、周囲の人々と協力しながら、自ら進むべき道を選択していかねばなりません。

当校でも、従来の授業に加え、GIGAスクール構想のもと一人一台のタブレット端末を活用し、生成AIの利用も視野に入れながら、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」といった、これからの時代に求められる資質・能力の育成に努めてまいりました。

先月のミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、日本選手の活躍が大きな感動を呼びました。当校卒業生の平野歩夢さんも、2大会連続の金メダルこそ逃したものの、複数箇所の骨折や右膝の感覚がない状態で出場し、超高難度の新技「フロントサイド・ダブルコーク1620」を成功させ、7位入賞しました。まさに奇跡と言えるトリックでした。

平野さんは、ゴーグルのバンドに「命」と記(しる)し、その意味について「これまでスノーボードにかけてきた思いを入れたかった」「競技生活をしている以上、いつどこで命を落とすか分からない」「トップに立ち続けるためには何か新しいことを生み出していかなきゃいけない」と語っています。世界の最高峰で闘う者ならではの、重みのある言葉です。

オリンピックの結果が奇跡であるならば、実は、私たち一人一人が今ここに存在していること自体が、奇跡の連続です。ある試算によれば、「あなた」という存在が生まれる確率は約400兆分の1、さらに祖先すべてが生き延び、特定の瞬間に出会い、命がつながってきた確率は、10の268万乗分の1という、事実上ゼロに等しい数字だと言われています。もし祖先の誰かが別の選択をしていたなら、「あなた」はこの世に存在していなかったかもしれません。

存在そのものが奇跡である皆さん一人一人は、これからの時代を切り拓き、未来の日本や村上市を担う大切な宝です。重要な役割を担う皆さんにお願いがあります。それは、自他を大切に、周囲と協力しながら賢明な選択を重ね、自分勝手ではない「自分らしい人生」を歩んでほしいということです。

自分らしさの第一歩は、自己理解です。自分を見失うことなく、内なる自分と向き合い、ありのままの自分を受け入れることです。

また、他者を思いやる「優しさ」は、人がもつ最も大切な資質です。人に優しくできる人は、自分自身も大切にできる人です。どうか、優しさを忘れない人であってください。

結びに、村上第一中学校を巣立つ皆さんの前途に幸多からんことを心より祈念し、式辞といたします。



## 三年生への感謝の言葉 ～三送会～

3月5日（木）、卒業する三年生に向けて、1・2年生が主催する三送会が行われました。

令和7年度の生徒会スローガンは『「咲[さく]」 心友 団結 安心』でした。このことを実現するために、リーダーとフォロアーの力が一体となり、充実した活動をこの一年間で数多く展開してきました。

今年はインフルエンザの流行拡大から、一度は三送会を中止にせざるを得ない状況に陥りました。しかし、生徒会がお世話になった3年生に感謝の気持ちを伝えたいとの強い気持ちから、新生徒会本部や専門委員長を中心に計画を修正し、限られた時間とはなりましたがそれぞれが趣向を凝らした三送会を行いました。1・2年生の成長と3年生の心が温まるとても和やかな三送会となりました。これからも、村上第一中学校の良き伝統を、新しい生徒会本部や委員長、部長をはじめ、1・2年生が必ず引き継いでくれるでしょう。



## 3月の主な予定

※卒業式後、下校時間が大幅に変わります。3月予定表（配信・配付済み）を御確認ください。

3	火	専門委員会（1、2年生）	9	月	3月の未来塾【学年のまとめ学習】 9、10、11、13、16日
4	水	公立高校一般選抜学力検査（3年）	17	火	リーダー研修会（PM）
			18	水	
5	木	卒業式予行練習（3、4限） 給食最終日（3年生）	19	木	給食最終日（1、2年生）
6	金	第56回 卒業証書授与式	24	火	終業式 離任式 11:10～

